

企画力養成講座

持続する事業
の理論と実践

“愛媛の社会的課題は、 こう取り組み！”

社会的課題をどう掘り起こすか、潜在的なニーズを掘り起こすには、事業を継続させ更に発展させるには・・・持続可能なビジネスモデルを構築する為必要なことを理論と実例から学びます。

- 菊野 宏文 氏 株式会社 Plus One 代表取締役社長

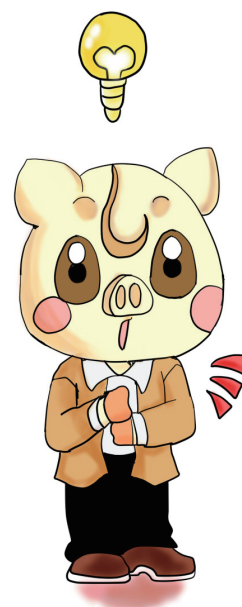
「発想力が成功への近道」

- 山本 康弘 氏 NPO法人 SHARE LIFE DESIGN 理事長

「学びとつながりを育むシェアハウス」

- 東淵 則之 氏 松山大学経営学部教授

「社会起業を成功させる手法」



日 時：2016年4月2日（土）13:30-16:00

場 所：愛媛県身体障害者福祉センター 2階大会議室
〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目12-11

参加費：1,000円

■ プレゼンコンテスト実行委員会

特定非営利法人ぶうしすてむ 認定NPO法人イーパーツ
NPO法人サスケ工房 まつやまNPOサポートセンター
e-まつやま最先端情報技術研究会 愛媛県
日本マイクロソフト

■ お問い合わせ



特定非営利活動法人ぶうしすてむ
〒790-0821 松山市木屋町3丁目12-7
TEL：089-923-5002 FAX：089-923-5020
URL：http://www.busystem.jp
Email：info@busystem.jp

■ 講座内容とタイムスケジュール

時 間	講 座 内 容	講 師
13:30 - 14:00	「発想力が成功への近道」 40以上の特許を取得。埋もれている社会的課題をどう掘り起こすのかが事業を成功させるかどうかを決める。その発想はどこからくるのか、どうすれば発想できるのか、そのヒントを紹介したい。	菊野 宏文
14:00 - 14:30	「学びとつながりを育むシェアハウス」 留学生の支援と空き家問題の解決を目指し、留学生と日本人が共に暮らせるシェアハウスを運営している。なぜこの事業を行おうと思ったのか、事業化する為に必要だった事は何か、ビジョンやビジネスモデルなどをどう組み立てたか、起業し継続的に事業する為のアイデアを紹介したい。	山本 康弘
14:30 - 15:00	「社会起業を成功させる手法」 成功している社会的課題を解決している成功例をValue Star Model(VSM)で分析し、継続できるビジネスモデルとして何が必要か、更にそれを現実化するには何か必要かを明らかにする。そして、非営利活動など社会的事業が抱える課題を解決するためのヒントを探る。	東瀨 則之
15:00 - 15:10	休 憩	
15:10 - 16:00	パネルディカッション「愛媛の社会的課題はこう取り組み！」 社会的事業の実践者はVSMをどう感じたか、VSM理論から、お二方の活動は評価できるのか、経験と理論両立の必要性。このディスカッションを通じて、ニーズの掘り起こし、発想の仕方、継続的なビジネスモデルを構築する為の手法を整理し、社会的事業を企画していく上でのヒントを提示したい。	菊野 宏文 山本 康弘 東瀨 則之 会田 和弘

■ 講師プロフィール

菊野宏文 株式会社 Plus One 代表取締役社長

1954年内子町生まれ。松山商科大学経営学部卒。旅行会社勤務、木材会社営業、雑貨企画会社経営をへて、2012年(株)Plus Oneを設立。現在は、特許商品に特化した商品開発を行っており約6年間で出願件数30数件、取得件数18件に及ぶ。特許取得商品は、自社での製造・販売を行うものと、他社に特許権を譲渡する方法で経営を行っている。また、他社からの依頼により商品開発を無料でを行い、売り上げが発生した時点で、ロイヤリティー契約を結ぶ方法も行っている。

山本康弘 NPO法人 SHARE LIFE DESIGN 理事長

1987年八幡浜市生まれ、松山育ち。2010年、愛媛大学農学部卒業。学生時代は、留学生との交流や海外でのプロジェクトに積極的に参加した。卒業後は、世界の寿司ブームを受け水産会社に入社し、3年半サラリーマンを経験。2013年任意団体シェアライフデザインを設立。2015年法人化をした。現在は、道後地区を中心に8軒のシェアハウスを管理している。

東瀨則之 松山大学経営学部教授

1957年高松市生まれ。1984年以来、松山大学経営学部・大学院にて教育・研究に当たっている。2000年以降は、企業経営、とくに「いい会社」研究に注力しており、いい会社づくりのための「成長ドライバ理論」は学界・実業界から注目されている。また2014年から愛媛県と協働して「えひめベンチャー起業塾」を開催し、起業家育成も行っている。

会田和弘 認定NPO法人 イーパーツ常務理事(ファシリテータ)

2001年より、非営利組織向けに、パソコンなどの情報機器のリユース品の利用を進める活動始める。同時にICTの利活用を推奨するコンテストやNPOでもできる情報管理講座等を実施している。東京電機大・成蹊大学非常勤講師。

-----<キリトリ線>-----

参加申込用紙

平成28年3月31日までにFAX(089-923-5020)またはメール(info@busystem.jp)にてお申込みください。

所 属	お名前	連絡先(メール/電話番号)